

4月は6%増の89万TEU

■LA港、過去2番目

米国西岸のロサンゼルス港の4月のコンテナ取扱量は、前年同月比5.7%増の89万861TEUとなった。2カ月ぶりにプラスに転じた。昨年は関税政策の影響で落ち込んだが、今年は反動で増加し、4月実績としては過去2番目に高い水準となった。1～4月累計のコンテナ取扱量は、前年同期比2.0%減の327万9704TEUとなった。過去5年平均を2%上回っ

たが、関税前の前倒し出荷で好調だった前年からは落ち込んだ。

ロサンゼルス市港湾局のジーン・セロカ局長は現地時間11日に開催したメディアブリーフィングで、「4月は今年の中では最も好調な月となり、昨年8月以降の最高値となった。米国の消費者の購買力が依然として堅調であることを示している」とコメントした。「新学期用品から早期のホリ

デー商品まで、次の輸入ラッシュが始まっている」と述べた。

4月実績の内訳は、実入り輸出が0.5%減の12万7726TEU、実入り輸入が4.7%増の45万9825TEU、空コンテナが10.2%増の30万3310TEUとなった。

1～4月累計の内訳は、実入り輸出が1.5%増の48万785TEU、実入り輸入が1.5%減の169万5964TEUとなった。